■使用評価マニュアル: CASBEE札幌(ver.1.0)
■評価ソフト: CASBEE_Sapporo2007v1.0

北海道トブックターミアル(ME保 新栄工争	■評価フノト: CASBEE_SapporoZUU/VI.U								
スコアシート				W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理					
配慮項目		評価	項目	環境を記念しの極高をしる機	建物全体・共用部分 住居・宿泊部分				Δ#
		G	S	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み 係数	評価点	重み 係数	全体
Q 建築物の環境品質・性能 Q−1 室内環境						0.00			2.6
Q-1 至内環境 1 音環境					2.8	0.33 0.15		-	2.9
1.1 騒音					3.0	0.40		-	
1 暗騒音レベル ・					3.0	1.00	***	-	
1.2 遮音	1				3.0	0.40		-	
1 開口部遮音性能					3.0	0.60	80	-	
2 界壁遮音性能 3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					3.0	0.40	30	_	
4 界床遮音性能(重量衝擊源)					300	-	36	-	
1.3 吸音					2.0	0.20	8.0	-	
2 温熱環境 2.1 室温制御					2.7 3.2	0.35		-	2.7
1 室温設定					3.0	0.30	200	-	
2 負荷変勢 通紅制御性	\A/			窓:SC=0.5、U=2.9、壁:U=0.8、屋根U=0.2	4.0	-		-	
3 外皮性能 4 ゾーン別制御性	W			☆、30-0.3、0-2.8、至、0-0.0、座100-0.2	4.0 3.0	0.20 0.50		-	
多度、基度制阀						-		-	
6 (800) (800) 1 (94,00) (40,00) (40,00) (40,00) (40,00)						_		_	
8 整理 次产品						-		-	
2.2 湿度制御					1.0	0.20	30	-	
2.3 空調方式 3 光·視環境					3.0	0.30	2.0	-	3.0
3.1 昼光利用					3.6	0.30		-	0.0
1 昼光率				事務所①:2.4%、事務所②:8.8%	4.0	0.60	88	-	
2 方位別開口 3 昼光利用設備	W				3.0	0.40		_	
3.2 グレア対策					3.0	0.30		-	
0 民业组织	147					-		-	
2 <u>昼光制御</u> 3.3 照度	W				3.0 2.0	1.00 0.15		_	
1 照度	1				2.0	1.00	20	-	
の A PZ DD サリケロ						-		_	
3.4 照明制御 4 空気質環境					3.0 3.5	0.25 0.25	5.0	-	3.5
4.1 発生源対策					4.0	0.50	****	-	
1 化学物質汚染				全てF☆☆☆☆の材料使用	4.0	1.00	200	-	
多二分2第						_		-	
4 シンナタラが発	1					-		-	
4.2 換気 1 換気量					1.6	0.30		-	
2 自然換気性能					3.0 1.0	0.33		-	
3 取り入れ外気への配慮					1.0	0.33	30	-	
4.3 運用管理					5.0	0.20		-	
1 CO ₂ の監視					-	-		_	
2 喫煙の制御				喫煙室を設けている。	5.0	1.00		-	
Q-2 サービス性能 1 機能性					2.5	0.30 0.40	-	-	3.0 2.5
1.1 機能性・使いやすさ					2.0	0.60		-	2.0
1 広さ・収納性					3.0	0.50		-	
2 高度情報通信設備対応 3 バリアフリー計画					1.0	0.50		_	
1.2 心理性・快適性	1				3.3	0.40		-	
1 広さ感・景観	1				3.0	0.33		-	
2 リフレッシュスペース 3 内装計画				喫煙室+休憩室あり	4.0	0.33		-	
					3.0 3.0	0.33		-	3.0
2.1 耐震·免震					3.0	0.48		-	
1 耐震性 2 免震·制振性能					3.0 3.0	0.80 0.20		_	
2.2 部品・部材の耐用年数	1				3.0 3.0	0.20		_	
1 外壁仕上げ材の補修必要間隔	W				3.0	0.29		-	
2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 3 配管・配線材の更新必要間隔	W				3.0 3.0	0.12 0.29		-	
3 配管・配線材の更新必要間隔 4 主要設備機器の更新必要間隔	W				3.0	0.29		-	
						-		-	
2.2 高級企業制 第上 原稿: 水銀社上が知の事務 上 原稿: 北級社の事務						-		-	
を登りを報刊の要素 主用設備機器の要素						_		_	
2.4 信頼性					3.2	0.19		-	
1 空調・換気設備				佐東刑限目を使用 マキスセルのでかっハギャレマンフ	3.0	0.20		-	
2 給排水·衛生設備 3 電気設備	ł			節水型器具を使用、できるだけの系統の分離をしている。	4.0 3.0	0.20 0.20		_	
4 機械・配管支持方法					3.0	0.20		-	
5 通信・情報設備					3.0	0.20		-	

■使用評価マニュアル: CASBEE札幌(ver.1.0) ■評価ソフト: CASBEE_Sapporo2007v1.0

スコアシート				W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理					
配慮項目		評価	項目		建物全体・共用部分 住居・宿泊部分			白部分	
		G	S	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み 係数	評価点	重み 係数	全体
3 対応性・更新性					3.6	0.29		17年90人	3.6
3.1 空間のゆとり					5.0	0.31		-	
1 階高のゆとり				ターミナルのCH=5.5m	5.0	0.60		-	
2 空間の形状・自由さ				ターミナルの壁長さ比率=0.02	5.0	0.40		_	
3.2 荷重のゆとり					3.0	0.31	2.0	_	
3.3 設備の更新性					3.0	0.38		_	
					3.0	0.36		_	
·								-	
					3.0	0.17		-	
3 電気配線の更新性					3.0	0.11		_	
4 通信配線の更新性					3.0	0.11		a –	
5 設備機器の更新性					3.0	0.22		_	
6 バックアップスペースの確保					3.0	0.22	************	_	
-3 室外環境(敷地内)					_	0.37	-	-	2.
1 生物環境の保全と創出		G			1.0	0.40		-	1.7
2 まちなみ・景観への配慮		G			3.0	0.20		-	3.
3 地域性・アメニティへの配慮	1			 	2.5	0.40		-	2.
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			S		2.0	0.50		-	
3.1 地域性への配慮、快適性の同上 3.2 敷地内温熱環境の向上	W	G	3		3.0	0.50			
	VV	G			3.0	0.50			
R 建築物の環境負荷低減性									3.
₹-1 エネルギー					_	0.40	_	-	3.
1 建物の熱負荷抑制	W				3.0	0.08		-	3.
2 自然エネルギー利用					3.0	0.26		-	3
2.1 自然エネルギーの直接利用	W				3.0	0.50		-	
2.2 自然エネルギーの変換利用	w		S		3.0	0.50		-	
3 設備システムの高効率化	W		_	高効率空調機、LED照明	5.0	0.39	*****	_	5.
4 効率的運用					3.0	0.26			3
4.1 モニタリング	W				3.0	0.50		-	3
								_	
4.2 運用管理体制	W				3.0	0.50	***************************************	_	
₹−2 資源・マテリアル					_	0.30	-	-	3.
1 水資源保護					3.6	0.15		-	3.
1.1 節水	W			節水型水栓、節水型便器	4.0	0.60		-	
1.2 雨水利用・雑排水再利用					3.0	0.40	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無	W				3.0	0.67		-	
2 雑排水再利用システム導入の有無	W				3.0	0.33		-	
2 低環境負荷材					3.5	0.85		_	3
2.1 資源の再利用効率					3.6	0.35		_	
1 躯体材料の再利用効率	W			鉄骨材料に電炉材を使用	4.0	0.67		_	
2 非構造材料の再利用効率	w			SCH INTITION INCIDIN	3.0	0.33		_	
					2.0	0.04			
2.2 持続可能な森林から産出された木材	W			防水工事のプライマー				_	
2.3 有害物質を含まない材料	147				3.0	0.08] -	
2.4 既存建築躯体などの再利用	W			外壁:ガルバリューム鋼板+LGS+PB、可動間仕切り採用	3.0	0.18		-	
2.5 部材の再利用可能性	W			アド至・ル IVハ ソユーム弾似+LGS+PB、円 駅间114 切り休用	5.0	0.18		-	
2.6 フロン・ハロンの回避			1		3.0	0.18		-	
1 消火剤	W		1		3.0	0.33		-	
2 断熱材	W		1		3.0	0.33		-	
3 冷媒	W		<u></u>		3.0	0.33		-	
R-3 敷地外環境					_	0.30	-	-	3
1 大気汚染防止	W				3.0	0.15		-	3
2 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.10		-	3
2.1 騒音					3.0	0.33		-	
2.2 振動	1		1		3.0	0.33	***********	-	
2.3 悪臭	1				3.0	0.33		-	
3 風害、日照阻害の抑制					3.0	0.10		_	3
3.1 風害の抑制					3.0	0.70		-	F.
3.2 日照阻害の抑制	l				3.0	0.70			
	 	<u> </u>	 	 			·····	-	Η.
4 光書の抑制	144		_		3.0	0.05	***************************************	-	3
5 温熱環境悪化の改善	W	G	S		2.0	0.30		-	2
6 地域インフラへの負荷抑制			<u> </u>		4.2	0.30		-	4
6.1 雨水処理負荷抑制	W		1	雨水貯留槽設置	5.0	0.30		-	
6.2 汚水処理負荷抑制	l		1		3.0	0.10		-	
6.3 交通負荷抑制				駐車場33台、荷捌き用82台、出入り口2カ所自走式立駐320台	5.0	0.30	*************************************	-	
6.4 廃棄物処理負荷	W	1	S		3.0	0.30	MXXXXXXXXXXXXX	8 –	

■ LF	R-1 用途別得点表	工場	事務所	事務所	_	面積按分
		5,805 m2	1327 m2	785 m2	_	総合スコア
1	建物の熱負荷抑制	-	3.0	3.0	_	3.0
3	設備システムの ERRによる評価	-	5.0	5.0	-	5
	高効率化 個別設備による評価	5.0	-	-	-	
3.1	空調設備	-	5.0	5.0	-	-
3.2	換気設備	-	-	-	-	-
3.3	照明設備	5.0	5.0	5.0	-	-
3.4	給湯設備	-	-	-	-	-
3.5	見悠幽設備	_	_	_	_	_